

浜名湖をめぐる研究者の会 第23回ワークショップ開催のお知らせ

2014年10月

各位殿

拝啓、秋も深まってきましたが、皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

「浜名湖をめぐる研究者の会」は、浜名湖と周辺地域の様々な研究情報の交流の場として、毎年12月に東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所で開催されてきました。例年この会には大学の研究者だけでなく、自治体、民間の研究機関、高校の生物・科学部、在野の研究者など様々な方が参加しています。そして発表は自然環境、環境を演出する生物、さらには人間活動を含めた地理的なものまで、バラエティーに富んだ内容となっています。例年のように活発な会となるよう、大勢の皆様の参加を期待しております。なお、参考までに昨年度のプログラムを同封いたしました。

「浜名湖をめぐる研究者の会第23回ワークショップ」の実施要領を別紙のとおり決めましたので、ご案内申し上げます。今回は発表形式を変えましたので、実施要項をご確認ください。参加・発表の申し込みは郵送、Fax、またはメールで、**11月20日までに事務局宛**にお願いします。

敬具

浜名湖をめぐる研究者の会 事務局

〒431-0214

静岡県浜松市西区舞阪町弁天島 2971-4

東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所
准教授

菊池 潔

Tel : 053-592-2821

Fax : 053-592-2822

<http://www.se.a.u-tokyo.ac.jp/japanese.html>

浜名湖をめぐる研究者の会 第23回ワークショップ

日時： 2014年12月6日（土曜日）14時～17時頃まで
17時30分から、簡単な懇親会(参加費1000円+持込大歓迎)を予定しています。

場所： 東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所
研究棟1F学生実習室（ポスター掲示と口頭発表）

受付： 2014年12月6日 13時から

参加申し込み：郵送、Fax、またはメールで、**11月20日まで**にお願いします。

申し込み先：〒431-0214 静岡県浜松市西区舞阪町弁天島 2971-4
東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所 事務局 宛
Fax：053-592-2822
E-mail：ayuka@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

申し込み方法：お名前、所属、ご住所（連絡先）、発表の有無、発表がある場合にはそのタイトル、
宿泊の希望の有無などについてお知らせ下さい。郵送、Fax の場合には4枚目の用紙
をご利用下さい。

発表形式：発表者は、ポスターの掲示と口頭発表を行います。要旨集用の原稿と口頭発表用のス
ライド（USBメモリー）は、当日、受付に提出してください。
発表時間は3分でお願いします。

講演要旨：講演要旨の形式は特に定めていませんが、大きさはA4版、ページ数は4ページ以内
として下さい。講演要旨は後日、印刷・製本の上、ワークショップ参加者に配布しま
す。内容はポスターそのままでも結構ですが、オフセットモノクロ印刷のため、
カラー原稿の色は反映されません。

- 研究発表要項 -

1. ポスターの掲示

12月6日14時までに、定められたパネルにポスターを掲示して下さい。ポスターは翌日事務局が撤去しますが、持ち帰りたい掲示物は6日中に発表者の手で撤去して下さい。ポスターの内容と形式は自由ですが、次のことを御考慮下さい。パネルの大きさは800×1200mm、下地はコルクボードです。パネル左上に発表番号(100×70mm)がはってありますので、定められた番号のパネルを使ってください。発表番号が見えるように掲示をお願いします。

2. 口頭発表

口頭発表は12月6日14時より始めます。(口頭発表の前にポスターの掲示を必ず終わらせてください。)発表時間は3分だけですので、研究の概要の紹介にとどめてください。口頭発表の間では質疑はありません。発表用のスライドはマイクロソフトパワーポイントで作成して下さい。パワーポイントファイルを入れたUSBメモリーは、各自、水産実験所までご持参下さい。スライドを使用しないで発表を希望される方は、事前に事務局にご連絡ください。

3. 質疑、討論

口頭発表終了後、ただちにポスター掲示前で行います。それぞれのポスター前で意見交換を行ってください。

浜名湖をめぐる研究者の会 第23回ワークショップ参加申し込み

氏名

所属

住所（連絡先：変更があった場合や、現在の送付先住所が間違っている場合、
お願いします）

電話

Fax

E-mail アドレス

発表の有無

発表希望 （ 有り 無し ）

発表題目・発表者氏名・所属（連名での発表の場合は全員の氏名所属）

懇親会参加の有無 （ 有り 無し ）

参加の場合 出席人数 人

宿泊の希望 （ 有り 無し ）

月 日 から 月 日 まで

宿泊者人数 人

申し込み頂きましたお名前、ご住所等の個人情報は、当事務局において厳重に管理するとともに、浜名湖をめぐる研究者の会に関するご案内に使用させていただきます。

【参考】昨年度のプログラム

第22回浜名湖をめぐる研究者の会プログラム

2013年12月14日

1. マツの森をまもる 井上淳・松井理生（東大生態水文学研究所）
2. 三河湾 前芝海岸・吉前海岸への観光来訪者調査 加藤正敏（みなと塾）
3. 川鶺の歴史と海洋生物 佐治良雄
4. あさりと三河湾、そして浜名湖—浅海域の保全再生論— 山本茂雄（アジアの浅瀬と干潟を守る会）
5. 浜名湖のラムサール条約とワイズユースの取組み 山内秀彦（はまなこ環境ネットワーク）
6. 「ラムサール」への道 浜名湖の生き物が持続できる水環境づくり
井上正男（日本科学技術ジャーナリスト会議）
7. 水辺のすこやかさ指標について 伊藤覚（浜松市環境保全課）
8. タイ国トラン沿岸域で造成した面積の異なる海草藻場における魚類群集構造
堀之内正博（島根大汽セ）・Prasert Tongnunui（RUT）・古満啓介（長崎大水産）・
中村洋平（高知大院黒潮）・加納光樹（茨城大広域水圏セ）・山口敦子（長崎大水産）・
岡本研・佐野光彦（東大院農）
9. 浜名湖における夏の成層が律速栄養塩に与える影響 坂本達也（東大院農）
10. 湖水流動調査への温度ロガーの応用 内山道春（静岡県環境衛生科学研究所）
11. 佐鳴湖における植物プランクトンの季節変化 萩原彩華（浜松市保健環境研究所）
12. 遡河回遊のゲノムワイド遺伝解析にむけて—河にさかのぼるフグと海産フグの遺伝学—
伊藤洸太郎・細谷将（東大水実）・内田琢也・菅原康平（東大院農）・濱崎将臣・宮
木廉夫（長崎水試）・土井啓行（しものせき水族館）・藤田真志・城夕香・菊池潔（東
大水実）
13. 佐鳴湖における在来カメ類の保護 第二報 堀川勝行・坂本聡・加藤寛明（浜松日体高等学校）
14. 外来種タカサゴユリの今 岩田悟・福永峻吾（浜松湖東高校）
15. 浜松市西区における外来種メリケンソウ 第三報 山田彩聖・村石賢哉（浜松湖東高校）
16. 水生植物オオフサモの驚異 秋永芳治（浜松湖東高校）
17. 最終処分場計画地の立地に係る地質構造と浜名湖の環境保全
松井孚夫（奥山地区環境保全対策協議会）・小野寺秀和（竜ヶ岩洞）
18. 原子力発電所事故による放射能汚染がコイ免疫系に及ぼす影響 鈴木譲